



# 守養の窓

令和2年度  
第7号

名古屋市立守山養護学校 令和3年2月16日

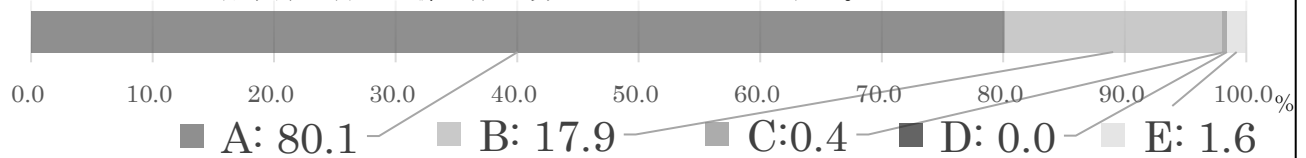
## 教育活動アンケートの結果です

保護者の皆様には「教育活動アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。251人の保護者の皆様から回答をいただきました。以下にアンケートの結果を掲載いたします。

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえば思わない D: 思わない E: 分からない

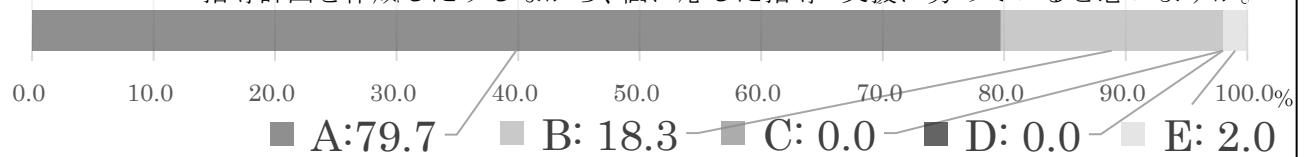
### 項目1

学校は、日々の指導・支援の中で、お子さんの特性や実態を踏まえながら、各学部・科の目標達成に努めていると思いますか。



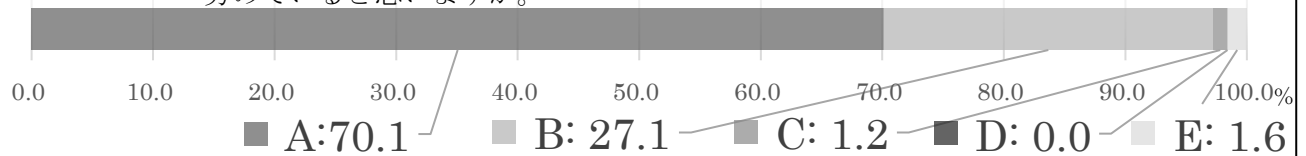
### 項目2

学校は、保護者と一緒に個別の支援計画を策定したり、お子さんに応じた個別の指導計画を作成したりしながら、個に応じた指導・支援に努めていると思いますか。



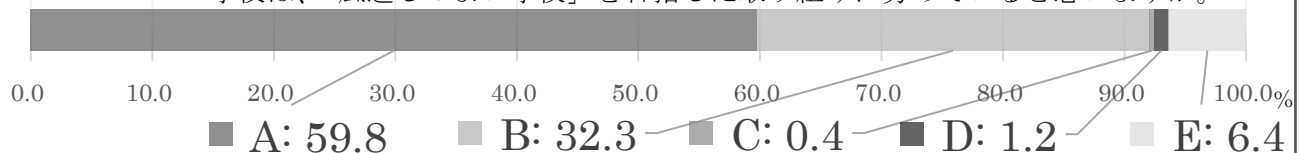
### 項目3

学校は、お子さんが安心・安全に学校生活を送ることができるように環境の整備に努めていると思いますか。



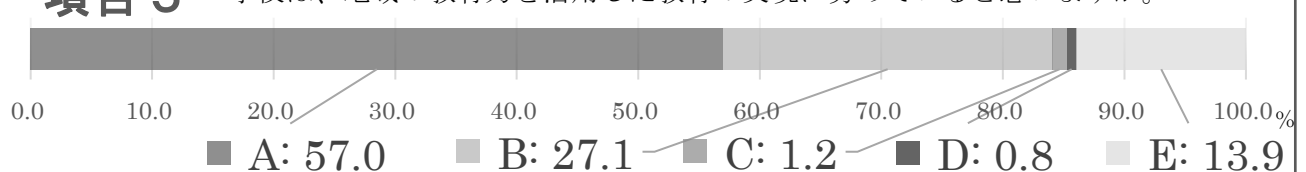
### 項目4

学校は、「風通しのよい学校」を目指した取り組みに努めていると思いますか。



### 項目5

学校は、地域の教育力を活用した教育の実現に努めていると思いますか。



### ◆教育活動アンケートの結果より◆

項目1～3のいずれも、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて97%を上回る回答をいただきました。項目4は、今年度、授業参観をはじめとする学校公開ができなかったにもかかわらず、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて91%を上回る回答をいただきました。項目5の「地域の教育力の活用」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて83%という回答になりました。この原因としては、校外学習に出掛けることができなかったことが大きく影響していると分析しています。今年度は、図書館司書による図書館の利用方法の指導及び読み聞かせ、市内在住の外部講師を招いての授業、区社会福祉協議会による福祉体験活動などを予定していましたが、そのほとんどが中止となってしまいました。次年度も新型コロナウイルス感染症の拡大状況に影響を受けることが予想されますが、今年度と同様、児童生徒の学びを促す活動を計画し、その時々で安全安心を確保できるかどうかを見極めながら、実施を検討していきたいと思えます。

### ◆ご意見等◆ 各学部の保護者の意見の概要を紹介させていただきます。

- コロナ禍で対応が難しい中、一生懸命、子どもたちに向き合っていただき、大変ありがたく感じています。このような教育活動アンケートを配布していただくことで、学校の取り組みがよく分かり、安心しました。(小学部)
- よい所を伸ばしてくださって、ありがとうございます。(中学部)
- コロナ禍で大変な時期ではありますが、環境を整えて頂き、子ども達が安全に学べるように配慮してくださっていて感謝しています。親が学校へ行き、授業を見る機会が無いのですが、その分、毎日の連絡ノートや個人懇談等を通して、指導支援の内容が分かりやすいので、安心しております。(高等部普通科)

○ 子どもの事を一番に考え、丁寧な指導をしてくださり日々感謝しています。安心して先生方にお任せでき、何でも相談にのってくださり、とても心強いです。(高等部産業科)

⇒ 長期化するコロナ禍で行事の中止の決断や、実施方法の大幅変更などが迫られる中、ご家庭のご理解とご協力をいただき、教育活動を進めることができました。ありがとうございました。

- 今年はコロナで授業参観がなく、子どもの様子を見る事ができなかったのも、廊下からでもいいので授業を見られるよう工夫をしてほしいです。(小学部)
- 今年度は、授業参観など保護者が学校に行く機会がなく、正直何をやっているのか昨年度に比べると分からないです。(中学部)
- 新型コロナウイルスという突然のトラブルで、やむを得ないことではありましたが、保護者が学校を訪れる機会が少なかったのは残念でした。子ども達の様々な行事も中止や縮小されたことは、それ以上に残念でしたが、その中でも、できる限りでの実施にご努力くださったのは、ありがたいことでした。(高等部普通科)

⇒ 特別支援学校である本校に在籍する子どもたちを新型コロナウイルス感染症から守るために、特別支援学校である本校では、文部科学省の『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル』や、名古屋市教育委員会の『教育活動再開後の対応について』を基に、慎重に拡大防止策を検討した結果、令和2年度は授業参観を見合わせました。令和3年度は、実施日時を分散させるなどの工夫を講じて、授業参観を実施する方向で年間計画を検討しています。

- 自分の子に対しては、全ての項目で「そう思う」と考えています。学校全体に対しての問いについては、自信をもってと言える程の情報もないため、分からないとしか答えられませんでした。(高等部産業科)

⇒ 学校だよりの発行や学校ホームページの更新を増やして、校内の情報を発信してきましたが、授業参観などで、直接、校内の様子やお子さんの活動をご覧いただいたときと同等の情報量をお届けすることができなかったということだと考えます。令和3年度は、お子さんが所属しない他学部の活動の様子なども分かる工夫をしていきたいと思えます。